---第 24 期---

No.11
2023/4/30

八ヶ岳歩こう会　会報

■事務局からのお知らせ

◎今号は別添「総会のご案内」が付いています。よくお読みの上、事務局に返信を下さい。ＦＡＸでもいつものＭＬメールでもＯＫです。ここ数年はコロナ禍により「紙面開催」だったり「理事のみ参加」の総会だったりしましたが、ようやく数年ぶりに総会らしい総会となりそうでほっとしております。役員改選の年でもあり、２年分の参加回数表彰もあったり、希望者のみですが総会後の懇親会も用意されています。「懇親会のみの参加もＯＫ」という昔からのユニークな慣例（？）も当会にはありますので、遠慮なくお申し込みください（人数制限がありますが)。また、当会は毎年皆様から徴収している参加費￥300 の一年分の総額の１割相当分を、しかるべき団体に寄付をしています。2011 年の「3.11 東北大震災」の被害者救済の為のアクションがきっかけでした。毎年風路さんが各団体へ送金などの手続きをしてくださっています。今年は寄付先をどこにしようか、などの相談もする予定です。皆様のご出席をお待ちしています。

【2023 年 5 月の行事詳細】

■5 月 10 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ）2 階第 9 会議室　10：00

■5 月 12 日(金)　新緑の棒道ウォーク、小淵沢から信州へ

歩こう会恒例の棒道ウォークですがたまには新緑の頃に歩きたいね、との声にお答えして小淵沢から甲六川を渡り信州側の棒道を歩きます。風香る５月唐松やもみじの新緑の中の森林浴ウォークです。

歩きのスタートは火の見櫓跡ですがトイレがない事、駐車スペースが少ない事からスパ

ティオ小淵沢に集合してトイレを済ませて分乗して火の見櫓跡に向かいます。(お間違いなきように)
爽やかな高原の風を１杯に受けて楽しくあるきましょう。
昼食がゴール後になるため少し遅くなります軽めの行動食、おやつを持参して下さい。

・コース：パティオ小淵沢(トイレ)(車に分乗して)～火の見櫓跡～棒道～甲六川～信州の棒道～森林浴の小道～茜窯(おやつタイム)ご厚意でお庭をおかりしますがトイレはありません。～東出口池～アウトレット(トイレ)～スパティオ小淵沢。ゴール後の昼食になります昼食後車の回収に火の見櫓跡へ
・距　離：約８キロ
・集　合：スパティオ小淵沢９時 30 分(各自トイレを済ませて
・解　散：スパティオ小淵沢 13 時頃
・参加費：会員 300 円、一般 500 円
・持ち物：お弁当(スパティオ利用も可)、雨具、飲み物、行動食、ダイアリー、保険証
・担当者：進藤律子(090-8948-2017)　市川富美子(090-2622-3688)
　　風路和子(080-6715-3826)

■5 月 15 日(月)　小淵沢・馬場の里ウォーク

小淵沢には棒道と並ぶ素敵なウォーキングコース「馬場の里」があります。コースには「大滝神社」と名水百選の一つ八ケ岳南麓広原湧水群の「大滝湧水公園」があります。ここで一休みし「三峰の丘」へ。お天気に恵まれれば、正面に甲斐駒ケ岳、鳳凰三山、富士山、八ケ岳と入笠山の先に奥穂高の遠望を観る事が出来ます。そこから暫く歩いて行くと２体のお地蔵さんが出迎えてくれます。この地蔵さん、随分探したんですよ。小淵沢の教育委員会の方に教えて頂きました。見つけた時にはとても嬉しかった。その後は「城山(篠尾塁跡)」へ。武田信虎・信玄の時代、甲斐国平定に重要な役割を果たした処です。特に信濃国諏訪対峙の時代、篠尾塁は甲斐国の要害として貢献したそうです。ここで昼食にします。休憩後に金比羅神社へ。金比羅神社は、金比羅山(丸山)の中央にあり、七里ケ岩台地の最高峰。武田信玄は、金比羅大神を祀り、この里の繁栄と健康を祈願し、宇津保木と呼ばれていた地名を敢えて金比羅山と名付けたと云う。馬場の里は、七里ケ岩の崖上にある笹尾塁跡を中心に、金比羅山、馬場池などからなり、素晴らしい展望が開けています。笹尾の里山は、奥秩父山塊の金峰山から霊峰富士山まで望める穏やかで美しい里山です。(現地解説参照)

三峰の丘

金比羅神社

・コース：小淵沢駅 → 大滝湧水(トイレ) → 三峰の丘 → 鼻取地蔵 → 子持地蔵 → 城

山公園(トイレ) → 金比羅神社 → 馬場池 → 東スポーツ公園 → 八反分堰 → 小淵沢駅

・距　離：約 14 キロ
・集　合：小淵沢駅　9 時 10 分
下り　甲府 8：09～韮崎 8：28～穴山 8：36～小淵沢 9：02
上り　松本 7：29～塩尻 7：57～茅野 8：26～小淵沢 8：48
・解　散：小淵沢駅　15 時頃
下り　小淵沢 15：29～茅野 16：16～岡谷 16：31
上り　小淵沢 15：38～韮崎 16：04～甲府 16：18
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキング手帳・保険証など
・担当者：市川富美子(090-2622-3688)　小林光修(090-4676-2067)
・その他：コースは約 14 キロです。膝痛、腰痛などで全コース歩けるか不安な方は前半コース(小淵沢駅～城山公園駐車場)だけ歩くか、後半コース(昼食場所の城山公園から小淵沢駅まで)を歩く事も可能です。前半の小淵沢駅から城山公園まで約 9 キロ、後半の城山公園から小淵沢駅まで約 5 キロ程になります。半分ウォークをご希望の方はご友人と相談して一台を城山公園に置き、もう一台は小淵沢駐車場へ。この場合、歩き終わったときに城山公園に置いてある車を引き取ることになります。担当者は送迎をしませんので各自でご友人とご相談の上、ご参加をお願いします。

■5 月 22 日(月)　北山野道を歩く(第 2 回) ～小松の里～

山梨には甲斐九筋と呼ばれる酒折を起点とする九本の古道がありますが、一方で江戸時代の甲斐の国の行政区画には三郡九筋と呼ばれる地域区分があり(山梨郡・八代郡・巨摩郡、栗原筋・万力筋・大石和筋・小石和筋・中郡筋・北山筋・逸見筋・武川筋・西郡筋)甲府市北部一帯は北山筋と呼ばれていました。このあたりが山梨郡北山筋と巨摩郡北山筋に属していたことによります。北山筋の山すそには古くからの歴史・文化が多く残されており、四季折々の植物や虫たちとの出会いが楽しめます。この北山筋の野の道という意味で北山野道と名付けられたルートは表門(うわと)の里、板垣の里、小松の里、志摩の里の四つの里から成っていて、途中での寄り道の仕方で変わりますが、概ね 35Km のコースです、これを 3 回に分けて歩きます。(東の一部は山梨郡万力筋) 第 2 回目は小松の里です。北山野道では中央線より北側の小松、塚原、上下積翠寺、古 府中、岩窪などの相川扇状地を中心とした一帯の地域を小松の里と呼んでいます。この小松の里の歴史は武田信虎が躑躅ヶ崎に館をかまえてから三代にわたって甲斐の国を治めた時代が中心です。信虎にゆかりのある興因寺、謎の多い白山神社、晴信(信玄)が産湯をつかったといわれる積翠寺、信虎の父信縄の菩提寺恵運院などの見どころがあります。甲府城跡と武田氏館跡との間には武田氏ゆかりの寺院や遺跡などが数多くありますが、これらは皆さん何度も訪れていると思われますので今回はパスし、武田氏館跡より北側の地域を中心に自然と歴史を訪ねます。

・コース：武田氏館跡歴史館(トイレ)→竜ヶ池→若宮八幡神社→興因寺→白山神社→積翠寺→要害城跡駐車場付近(昼食、トイレ)→要害城跡→恵運院→古府中 1 号公園

（トイレ）→武田氏館跡（トイレ）
・距 離：約 10Km
・集 合：武田氏館跡歴史館（武田神社前）10 時 20 分
公共交通機関（推奨）を利用する場合は
上り 小淵沢発 8：48 甲府着 9：32 下り 山梨市発 9：23 甲府着 9：37
で甲府駅北口 2 番乗り場より 10：00 発の武田神社行きに乗ってください
・解 散：武田氏館跡 15：00 頃
・参加費：会員 300 円 一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・マスク・ウオーキングダイアリ（会員のみ）・保険証・その他
・担当者：大嶋 俊壽（080-2044－4766） 小塚敏夫
・その他：自家用車で現地集合の場合の駐車場等は自己責任でお願いします。
要害城跡の主郭（山頂）までは急な登りが続き、かなりきついで無理をせず雰囲気を感じる程度にとどめたいと思います。

■5 月 24 日（水） 鏝絵巡りシリーズ（第 10 回） 茅野市玉川の鏝絵巡り

茅野市玉川は私の知る範囲では 23 件の鏝絵がありますが、今回は荒神・神之原・粟沢と玉川の中では茅野市駅に近い範囲を歩き、21 件の鏝絵を巡ります。特に粟沢はかつて左官さんが多く住んでいた地区で、その左官さん達が技を競った為か質の高い鏝絵が幾つも見られます。1 ヶ所シャッターアートがあり、その題材も七福神や龍・虎など鏝絵にも通ずるものが楽しく描かれており、地区の左官さんの遊び心かと思われます。
昼食場所の粟沢観音は平安時代末期から続いた館、粟沢城の跡地で粟沢一族の慰霊のために建立されました。5 月 2 日には八十八夜祭で賑わいますが、ここの彫刻群もなかな

かのものです。昼食のあと伽藍の四方に施された干支の彫刻など楽しんでいただければと思います。
休憩場所として立ち寄る茅野市運動公園には2018年冬季五輪金メダリストの小平奈緒さんが3歳から中学生まで練習としていたスケート場｛ＮＡＯ ｉｃｅ ＯＶＡＬ」があります、また運が良ければ公園内で野生のリスに会えるかも知れませんよ。

・コース：茅野駅(トイレ)－茅野市運動公園(トイレ)－荒神地区(鏝絵1件)－神之原(鏝絵10件)－粟沢(鏝絵3件)－粟沢観音(昼食)－粟沢(鏝絵6件)－茅野市運動公園(トイレ)－茅野駅(トイレ)
・距　離：約１０ｋｍ
・集　合：　９：３０　茅野駅東口
　(甲府8:16→韮崎8:29→穴山8:36→長坂8:55→小淵沢9:02→茅野9：23)
・解　散：１４：３０　茅野市駅
　(茅野15:03→小淵沢15:38→長坂15:45→穴山15:56→韮崎16:04→甲府16:17)
・参加費：会員 300円　一般 500円
・持ち物：昼食　飲み物　雨具　ウォーキングダイアリー(会員のみ)　保険証等
・担当者：小澤　久　　村松光比古
・その他：
　・茅野駅の東側一帯を標高差も比較的少なく巡るウォークです。
　・リーダーが健脚ではありませんので緩やかなペースで歩きます。

■5月27日(土)　城跡・館跡巡りシリーズ(第10回) 大八田・深草館跡ウォーク

金生遺跡

深草館跡案内板

深草館跡は、雄大な八ヶ岳南麓に広がる田畑の中にある大八田(おおばった)集落の一角に位置します。近くにある国の指定史跡・金生遺跡は、北の方向400m先になります。
今回のコースは、歩こう会で幾度も歩きました。本当に懐かしくなります。
コースにおいては、長坂という字の通り坂があります。列の間隔を余り開けないように歩行ペースに注意していきます。又、水分補給と休憩時間を十分に取りながらのウォーキングになります。
深草館跡については、別名は深草塁又は深草城とも言われています。平城(ひらじろ)になります。県指定の史跡になります。築城時期と築城城主は、はっきりしていないそうです。一時期の城主は、武田家臣・堀内下総守だと言われています。近くにある、国指

定の史跡、谷戸城の出城だったと言われています。戦国時代は、信玄棒道及び佐久往還に近く戦略的にも重要な場所であったと言われています。案内板は遠慮深げに建っています。東側から南側にかけて、深い空堀が良く残っています。土塁や堀切・曲輪等の姿が確認できます。

・コース：JR 長坂駅(トイレ)→清光寺→八ヶ岳 PA(トイレ)→金生遺跡(昼食・トイレ)→深草館跡→長坂駅(トイレ)

※深草館跡は、西側の農道横には館跡入口らしき丸太が３本架けられています。又、個人の方が管理されているそうです。無断で見学してもいいのか躊躇します。今回は、安全を考えて登城中止にします。堀の外より見学できます。

・距　離：約 10.5ｋｍ

・集　合：JR 長坂駅　10：15

上り　小淵沢駅 10：02→長坂駅 10：09

下り　塩山駅 9：00→甲府駅 9：32→長坂駅 10：12

・解　散：長坂駅　15：30 頃

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー・保険証・マスク？・その他

・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　小林光修(090-4676-2067)

市川富美子(0551-37-6440)

【2023 年 6 月の行事詳細】

■6 月 5 日(月)　江戸巡礼古道ウオーク～秩父三十四ヶ所札所巡り～第 5 回

30 番法雲寺～31 番観音院

江戸巡礼古道ウオークは第 4 回まで終了し 34 ヶ所札所のうち 29 番札所まで到達しました、札所の数としては 85%ほど終了したわけですが、距離としては全行程約 100Km のうちの 40Km ほどをを歩いたにすぎません。この先は札所間の距離も長くなり、秩父市街地を外れ巡礼古道の趣を残した道も多くなります。一方で古道の痕跡はあるが通行不可能な場所、古道が拡幅され県道等になっていて古道の面影を残していない場所も多くあります。特に今回の 30 番、31 番間は距離もこの札所巡りで最長の約 18km でその多くが県道 37 号となっています。そこで今回はこの県道部分は全員がバスで移動することにします。

一部古道が一応通行可能とはなっているものの狭い崖沿いの道、身を託してよいか不安になるようなロープに頼らざるを得ない急な下り、水面に現れた石をジャンプしていかないと渡れない沢渡りなど危険の伴うコースがあります、ここは残念ながら通行を断念し、県道をバスで行くことにします。

30 番法雲寺は手入れの行き届いた庭園が印象的で、花と緑に包まれた境内を楽しめます。観音堂から見下ろすと本堂が池に臨んで建てられ、池のほとりに庭石を配し、その周りにツツジ、アジサイ、サツキなどが植えられ、これらが色づく初夏の美しさ、春先には梅、秋にはアザミやキキョウなどの花々も彩を添えてくれます。

31 番観音院の山門では巨大な石の仁王が迎えてくれます、仁王門から観音堂までは 296

段の「厄除けの石段」と坂道が続く標高差 53m の難所ですが険しいとか危険ということはなく，岩と木々にかこまれ、点在する石碑や石仏を楽しみながら登っていくことができます。

・コース：法雲寺(30 番)→贄川付近→(バスで移動)→道の駅両神(昼食、トイレ)→観音院(31 番)
・距　離：約 10Km
・集　合：平田家住宅前駐車場 7：00　甲府駅北口 7：50　道の駅はなかげの郷まきおか 8：30
・解　散：道の駅はなかげの郷まきおか 18：20 頃　甲府駅北口 19：00 頃 平田家住宅前 20：00 頃
・参加費：会員 500 円　一般： 1,000 円　バス代　会員 5,500 円　一般 6,000 円(バス代は参加者数等により増減の可能性があります)
・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウオーキングダイアリ(会員のみ)、保険証等
・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766)　多賀純夫
・申し込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。
なお第 4 回に参加された方は既に申し込み済となっています、参加できない場合はキャンセルの連絡をお願いします。
　多賀純夫　Mail:　taga-ya@pairhat.jp　FAX: 0551-32-6877

■6 月 7 日(水)　定期総会　韮崎市民交流センター(ニコリ)　1 階第 5 会議室

■6 月 24 日(土)　城跡・館跡巡りシリーズ(第 11 回) 花水・曲渕氏屋敷跡ウォーク
初夏の雄大な八ヶ岳連峰を前方にして、右手には迫力ある七里岩を・左手には屈指の名峰・甲斐駒ヶ岳を眺めながらの贅沢なウォーキングになります。
今回は、花水の郷・曲渕氏屋敷跡を訪れます。屋敷跡は、釜無川左岸の台地にあります。残念ながら屋敷跡らしき痕跡は見ることができないですが、屋敷跡の証である標柱が建っています。北杜市の指定史蹟になっています。
コースにおいては、釜無川を挟んで旧甲州街道の台ヶ原宿及び花水の郷辺りにしたウオーキングになります。列の間隔を余り開けないように注意していきます。
熱中症にかからない様に、休憩時間と水分補給を多めにとっていきます。
・余計な話なります。曲渕景漸(まがりぶちかげつぐ)１７２５～１８００年、ＮＨＫＢＳ・タイトル(英雄たちの選択・天明の打ちこわし)放映されていました。曲渕景漸の名前が出てきます。景漸は、大阪西奉行に抜擢された後に江戸北町奉行に就任して、約１８年間にわたって江戸の統治に尽力したと言われています。一時期は、幕閣内の権力争いに巻き込まれて左遷させられます。普通だと話はここで終わりになりますが、景漸はここから凄いです。当時の幕閣には景漸の才覚を高く評価していて、反対派でいたのに関わらず勘定奉行として再度幕政に参画して剛腕ぶりを発揮していきます。
７２歳で、要職を離れるのを願い出て辞任します。７６歳で亡くなります。
景漸は、祖にあたる曲渕吉景の代より数えて５代目である曲渕景衡の子にあたります。
景衡は甲府城勤番の支配(追手組)に就きます。
北町奉行・曲渕景漸は、一時期は火付盗賊改方・長谷川平蔵とタッグを組んで江戸の治

安を守ったと言われています。テレビに放映されている鬼平犯科帳は長谷川平蔵をモデルにしています。
曲渕家の祖は、曲渕吉景になります。戦国時代より安土桃山時代にかけての武将です。かの有名な武川衆の一員であり、最初に花水の郷に館を構えました。武田家に仕えて滅亡の後は徳川家に仕えて壬午の戦い・関ケ原の戦い・大阪の陣に参戦していきます。曲渕家は、徳川将軍直属の家臣、旗本にとりたてられていきます。武川衆の一員として代々続いた家系の中では、歴史上に登場する代表的な人物には、柳沢吉保・次は曲渕景漸になると思います。

・コース：道の駅はくしゅう（トイレ）→長光寺→花水・曲渕氏屋敷跡・清泰寺→市台ヶ原宿駐車場（昼食・トイレ）→花水坂橋ふもと→旧甲州街道→自元寺→道の駅はくしゅう（トイレ）
・距　離：約 12ｋｍ
・集　合：道の駅はくしゅう駐車場　10：00
山梨県北杜市白州町白須１３０８
※市民バス利用の方は、日野春駅 9：13→道の駅はくしゅう南 9：39（１人/200 円）
※駐車される方は、他の方に迷惑がかからない様に奥の方に駐車して下さい。
・解　散：道の駅はくしゅう　15：30
※市民バス利用の方は、最寄りの駅までスタップにて送迎します。
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー・保険証・その他
・担当者：田中哲夫（090-4927-5044）　小林光修（090-4676-2067）

【2023 年 7 月の行事詳細】

■7 月 5 日（水）　月例会

■7 月 13 日(木)～14 日(金)　ぶらり中山道バスの旅・馬籠～大井
・概要：今回から宿泊を伴うウオークになりましたが、4/27 時点で 32 名のお申し込みがあり、44 名乗り大型バス利用が決定しました。宿も空きがありますので、まだ申込受け付けています。ただし今後のご参加は「ダブルルームのみ」となります。
・宿泊料金：お二人で泊まる場合はお一人￥6.600。シングルユースの場合￥9.900。
・宿：「お宿オン(Onn)中津川」
昨年 10 月にオープンしたばかり。朝食付きスタイルの宿として開業しました。夕食は各自、街に出かけて自由に食べてください。歩いて 7 分ほどに JR 中津川駅がありますので、ほぼ市街地といっていいでしょう。
・キャンセル：二人部屋の相方がキャンセルした場合は、参加される方の宿泊代金は￥9.900 となります。どなたかシングルルームの方がその部屋に移動して二人で泊まればその限りではありません。キャンセルされた方は、バス代、宿泊代とも 1 週間前までならキャンセル料は不用です。以降は 50%、当日は 100%頂きます。
・バス代：会員￥8.000　一般￥8.500
・参加費：会員￥500　一般￥1.000
・バスコース往路：穴山駅(7：50)⇒日野春ファミマ⇒長坂ローソン(8：10)⇒小淵沢駅(8：30)⇒馬籠宿(12：00)
・バス復路：大井宿 16：00⇒諏訪 SA⇒穴山 19：30 着
・歩行行程：初日 9ｋｍ　二日目 12ｋｍ　ランチ情報など詳細は次号でお知らせします。
・申込み方法：氏名、連絡先　乗車場所を極力メールでお願いいたします。
・担当：多賀純夫 090-8857-2864　風路和子 080-6715-3826

■7 月 24 日(月) 北山野道を歩く(第三回)

【月例会】
・月例会は毎月一度の話し合いの場です。どなたも歓迎ですのでご参加下さい。
【例会参加者へ】
・特に表記のない例会は、雨天決行です。
・特別の場合を除いて事前申し込み不要です。
・例会は、どなたも参加できます。
・会員は会員証とウォーキング手帳を御持参下さい。(貰っていない方は事務局へ)
・タイトルの前に※印があるのは当会主催ではありません。
他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。
八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888 FAX 0551-32-6877